

# 事務事業評価シート

(H.28)No.	4026	(H.27)No.	4026
-----------	------	-----------	------

事務事業名	社会資本整備総合交付金事業(道路舗装)		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	維持管理室	田中 悟	

会計区分	事業コード	395201
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 土木費	社会資本整備総合交付金事業(道路舗装)	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 道路舗装費	社会資本整備総合交付金事業(道路舗装)	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施 策	2	道路整備
	小 施 策	3	快適な道路環境の形成
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
生活道路の整備により、快適な道路環境の形成に努めます。
事業内容
社会資本整備総合交付金事業を活用し、既存道路の安全性向上を図るため、計画的な舗装工事を実施します。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	春日丘中央線舗装補修工事 (L=200m A=1,380㎡) 12,783千円	春日丘中央線 14,010千円	春日丘中央線 28,000千円	青蓮寺名張線 20,000千円	青蓮寺名張線 30,000千円
	すずらん台3号線舗装補修工事 (L=323m A=2,420㎡) 13,243千円	下比奈知つつじが丘線 5,610千円	すずらん台中央線 20,000千円	すずらん台4号線 20,000千円	すずらん台4号線 20,000千円
	下比奈知つつじが丘線舗装補修工事 (L=220m A=1,680㎡) 10,065千円	すずらん台中央線 25,710千円	青蓮寺名張線 20,000千円	鹿高8号線 20,000千円	鹿高8号線 20,000千円
		大屋戸短野線 17,000千円	八幡工業団地中央線 13,000千円	八幡工業団地1号線 8,000千円	

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	36,091千円	62,330千円	81,000千円	68,000千円	70,000千円
内訳(千円)					
国・県支出金	19,840	34,100	44,550	37,400	38,500
地方債	16,200	28,200			
その他( )					
一般財源	(0) 51	30	36,450	30,600	31,500
人工数					
職員	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 760千円	760千円	760千円	760千円	760千円
①+②総事業費	(0千円) 36,851千円	63,090千円	81,760千円	68,760千円	70,760千円

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
道路ストック総点検による路面性状調査を実施し、H28年度以降で取組むべき路線の優先順位を決定しました。 道路ストック総点検による道路附属物及び防災点検を実施し、H28年度以降補修・修繕を行う必要がある施設を選定しました。	H28年度は、H25年度から実施している春日丘中央線とえH28年度完了予定のH28年度完了予定の下比奈知つつじが丘線、すずらん台中央線、大屋戸短野線を実施します。これに加え今後は、春日丘中央線のH29年度完成を目指しながら、すずらん台や八幡工業団地の主要幹線を中心に継続的な補修を行っていきます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	既存道路の安全性向上と快適な道路環境の形成を目指す取組を進めることができました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
快適な道路環境の形成に向け引き続き実施していく必要があります。今後は、国等の財政措置にも注視しながら取組を進めます。	